

コンプライアンスに関するアンケート結果

実施期間 令和6年2月15日（木）から26日（月）まで

回答数 258名（全職員数575名、回収率44.9%）

常勤職員361名（51.8%） 会計年度任用職員214名（33.2%）

Q1 あなたの年齢

項目	人数	割合
10代・20代	30	11.6%
30代	78	30.2%
40代	74	28.7%
50代以上	76	29.5%

Q2 あなたの性別

項目	人数	割合
男性	154	59.7%
女性	104	40.3%

Q3 あなたの所属

項目	人数	割合
議会事務局、総合政策課、総務課、財務課、税務課、危機管理課、会計課、消防本部・署、市民病院、監査委員事務局、選挙管理委員会	110	42.6%
市民生活課、福祉事務所、医療介護課、生涯学習課、学校政策課	104	40.3%
農業振興課、農地水産林政課、商工観光スポーツランド推進課、都市建設課、上下水道課、農業委員会事務局	44	17.1%

Q4 あなたの役職

項目	人数	割合
主事級（再任用職員を含む。）	93	36.1%
係長級	54	20.9%
課長補佐級以上（再任用職員を含む。）	40	15.5%
会計年度任用職員	71	27.5%

Q5 あなたは、日頃からコンプライアンスを意識していると思いますか。

項目	人数	割合
十分意識している。	87	33.7%
どちらかと言えば意識している。	157	60.9%
どちらかと言えば意識していない。	13	5.0%
全く意識していない	1	0.4%

Q6 あなたは、法令等に基づいて正確な仕事ができていると思いますか。

項目	人数	割合
十分できている。	62	24.0%
どちらかと言えばできている。	186	72.1%
どちらかと言えばできていない。	10	3.9%
全くできていない。	0	0.0%

Q7 あなたは、誰に対しても公平・公正に職務を執行することができていますか。

項目	人数	割合
十分できている。	83	32.2%
どちらかと言えばできている。	168	65.1%
どちらかと言えばできていない。	7	2.7%
全くできていない。	0	0.0%

Q8 あなたは、公務内外を問わず、モラルや高い倫理観を持って行動することができていますか。

項目	人数	割合
そう思う。	34	13.2%
まあそう思う。	163	63.2%
公務内ではできているが、公務外ではできていない（あまり自信がない。）。	52	20.1%
公務内ではできていない（あまり自信がない。）が、公務外ではできている。	1	0.4%
公務内外を問わずできていない（あまり自信がない。）。	8	3.1%
公務内外と問わずできていない。	0	0.0%

Q9 あなたは、職務に関連する利害関係者と会食や遊技を行ったことがありますか。

項目	人数	割合
ある。	36	14.0%
ない。	222	86.0%

Q10 そのときの所属はどこでしたか。

項目	人数	割合
議会事務局、総合政策課、総務課、財務課、税務課、危機管理課、会計課、消防本部・署、市民病院、監査委員事務局、選挙管理委員会	18	38.3%
市民生活課、福祉事務所、医療介護課、生涯学習課、学校政策課	7	14.9%
農業振興課、農地水産林政課、商工観光スポーツランド推進課、都市建設課、上下水道課、農業委員会事務局	22	46.8%

Q11 何回くらいですか。

項目	人数	割合
1回から10回の間	27	75.0%
10回から20回の間	3	8.3%
21回以上	6	16.7%

Q12 会食や遊技に係る費用（総額）の負担は誰がしていましたか。

項目	人数	割合
割り勘（ほぼ割り勘も含む。）	26	72.2%
自分	1	2.8%
自分が多めに支払う。	1	2.8%
相手方	0	0.0%
相手方が多めに支払う。	2	5.5%
その時々で違う。	6	16.7%

Q13 あなたは、利害関係者から中元や歳暮等の贈答、現金の贈与など受けたことがありますか。

項目	人数	割合
ある。	3	1.2%
申込みがあったが断った、又は返却した。	1	0.4%
ない。	254	98.4%

Q14 そのときの所属はどこでしたか。

項目	人数	割合
議会事務局、総合政策課、総務課、財務課、税務課、危機管理課、会計課、消防本部・署、市民病院、監査委員事務局、選挙管理委員会	2	33.4%
市民生活課、福祉事務所、医療介護課、生涯学習課、学校政策課	2	33.3%
農業振興課、農地水産林政課、商工観光スポーツランド推進課、都市建設課、上下水道課、農業委員会事務局	2	33.3%

Q15 何を受け取りましたか。または、何の申込みがありましたか。

項目	人数	割合
金銭	1	20.0%
中元、歳暮などの贈答品	2	40.0%
通常のサービスを超えたサービス	0	0.0%
無利子の貸付	0	0.0%
その他	2	40.0%

その他の内訳 梅干し、飲み物

※ Q13において「ある」と回答した者については、金銭以外の物を受け取ったことがある

としている。金銭については、Q13 において「申し込みがあったが断った、又は返却した」と回答している。

Q16 あなたは、利害関係者から中元、歳暮、現金等ではない、湯茶等の提供を受けたことがありますか。

項目	人数	割合
ある。	48	18.6%
提供があったが断った。	6	2.3%
ない。	204	79.1%

Q17 何の提供を受けましたか。

項目	人数	割合
缶飲料（ペットボトル飲料を含む。）	34	30.1%
缶飲料以外の飲料（相手方淹れたお茶、コーヒー等）	39	34.5%
菓子（せんべい等の比較的低廉なもの）	17	15.0%
菓子（ケーキ等の比較的高価なもの）	0	0.0%
利害関係者が収穫した農作物等	17	15.0%
弁当等の食事	4	3.6%
その他	2	1.8%

その他の内訳 手作りの食べ物、お土産（菓子、茶葉等）

Q18 あなたは、自分が職場でハラスメントを受けていると感じますか。

項目	人数	割合
セクシュアル・ハラスメントを受けていると感じる。	2	0.8%
パワー・ハラスメントを受けていると感じる。	17	6.5%
妊娠・出産・育児・介護に関するハラスメントを受けていると感じる。	2	0.8%
その他のハラスメントを受けていると感じる。	5	1.9%
ハラスメントを受けているとは感じない。	235	90.0%

Q19 誰があなたに対し、どのようなことを行っていますか。（主な内容）

- ① 上司が特定の職員に対して、優遇している。
- ② 同僚が私に対してだけきつい対応をする
- ③ 上司が必要以上に否定してくる。
- ④ あらゆる場面でパワーハラスメントが横行している。
- ⑤ 上司がプライベートに必要以上に干渉してくる。
- ⑥ 同僚が私に対して悪口を言っている。
- ⑦ 課長がパワハラを行っていると感じる
- ⑧ 上司が飲み会の強要及び身体的侮辱
- ⑨ 上司が部下に責任をおしつけている

- ⑩ 課内の職員が気分によって強い口調で注意してくる。
- ⑪ 同僚が私に対し、個人的な事象について考え方が違うと口を効かなくなる

Q20 あなたは、自分以外の職員が職場でハラスメントを受けていると感じますか。

項目	人数	割合
セクシュアル・ハラスメントを受けていると感じる。	10	3.7%
パワー・ハラスメントを受けていると感じる。	37	13.6%
妊娠・出産・育児・介護に関するハラスメントを受けていると感じる。	1	0.4%
その他のハラスメントを受けていると感じる。	10	3.7%
ハラスメントを受けているとは感じない。	213	78.6%

Q21 誰が誰に対し、どのようなことを行っていますか。(主な内容)

- ① 同じ部署の職員に対して、高圧的な態度をとる職員がいる
- ② 上司が部下に対し、パワハラを行っている
- ③ 課長等が特定の人物から圧力をかけられている。
- ④ 上司が部下に対してずっと不機嫌。
- ⑤ 上司の同僚に対する指示の出し方が萎縮するようなものになっている。
- ⑥ 上司が年休の取得理由を詳しく聞くことで取得しづらい。育児に関する助言が助言になっておらず育児否定に聞こえる。
- ⑦ 上司が後輩のプライベートに必要以上に干渉している。
- ⑧ 私の同僚に上司が理不尽なことを言っている
- ⑨ ある市民が職員に対し威圧的な態度
- ⑩ 上司が同僚に対し飲み会の強要及び身体的侮辱
- ⑪ 自分が同僚に対し、言葉での性的発言をしている。
- ⑫ 上司が別の上司に対し、理不尽な要求、高圧的な態度をとっている。
- ⑬ 言い方がきつい職員がいる。
- ⑭ 上司が部下に責任をおしつけている
- ⑮ 上司が私の同僚に対し、飲み会の際にセクハラを行っている。
- ⑯ 同僚が同僚に対して個人的な内容について自分の考えを強く勧めている
- ⑰ 年配職員が若手職員に必要以上に怒鳴っていた。
- ⑱ 特定の人物が職員に対し、パワハラ、モラハラを行っている。

Q22 あなたは、職場でハラスメントを受けている、あるいは受けているところを目撃した場合、どのように対応します（すると思います）か。

項目	人数	割合
職場の上司に相談する。	113	25.4%
職場の同僚に相談する。	118	26.6%
職場以外の友人や知人に相談する。	32	7.2%
ハラスメントを行っている人に直接注意する。	36	8.1%
総務課に相談する。	70	15.8%
その他の相談機関等（組合、労基署、弁護士等）に相談する。	10	2.3%
相談はしない。	27	6.1%
分からない。	38	8.5%

Q23 あなたは、職場でコンプライアンス上問題があるのではと思うことを目撃した場合、どのように行動すると思いますか。

項目	人数	割合
直接本人に注意する。	59	17.4%
職場の上司、同僚等に相談する。	175	51.6%
総務課に相談する。	51	15.0%
何もしない。	25	7.4%
どうしたらよいか分からない。	29	8.6%

Q24 あなたは、職員の不祥事が発生する要因は何だと思えますか。

項目	人数	割合
職員のモラルの欠如	183	31.6%
組織としてのリスク管理体制の不備	140	24.1%
責任者・管理者による管理監督の不足	99	17.1%
職場内のコミュニケーションの不足	149	25.7%
その他	9	1.5%

その他の内容（主な内容）

- ① 本人の価値観 本人の問題
- ② 上司、部下との連携不足
- ③ 油断
- ④ 職員個人の人間性
- ⑤ 人員不足、低賃金
- ⑥ 知識不足、業務の過多
- ⑦ 超過労働により追い詰められる状況
- ⑧ 職員の性格や日ごろからの付き合いによる馴れ合い
- ⑨ 自己管理不足

Q25 あなたは、職員の不祥事は発生させないようにするには、何が有効だと思いますか。

項目	人数	割合
コンプライアンス・不祥事防止に関する研修を充実させること。	91	14.5%
コンプライアンス・不祥事防止に関する情報提供を充実させること。	90	14.3%
チェック体制を強化するなどの仕組みづくりを行うこと。	160	25.4%
職場内のコミュニケーションをよくすること。	157	25.0%
上司と部下が定期的に面談をすること。	64	10.2%
処分を厳正に行うこと。	63	10.0%
その他	4	0.6%

その他の内容（主な内容）

- ① 個人まかせにしない。
- ② 研修や情報提供も必要だが対外的なパフォーマンスにしかない側面もあるので、忌憚なく発言できる環境づくりに努めるべき。
- ③ 椅子や机、庁内の設備を綺麗にすることで、モラルの低下は防げる。
- ④ 職員数を増やし余裕を持って研修等に参加させる。

Q26 あなたは、事務処理ミスが発生する要因は何だと思いますか。

項目	人数	割合
職員の知識・経験の不足	207	30.4%
職員の体調面での不調	42	6.2%
組織としてのリスク管理体制の不備	99	14.5%
責任者・管理者による管理監督の不足	86	12.6%
職場内のコミュニケーションの不足	122	17.9%
事務処理マニュアルの未整備	114	16.7%
その他	12	1.7%

その他の内容（主な内容）

- ① チェック、確認、決裁する上司の怠慢
- ② 担当職員の業務が多岐にわたっており、確認作業などチェックまで行き届いていない
- ③ 業務の煩雑さ、業務量の多さ
- ④ 職員による事務執行及び管理体制不足
- ⑤ 職員の事務処理能が他自治体と比べると低い。
- ⑥ 仕事が多すぎる
- ⑦ 本人のチェック不足
- ⑧ 整理整頓がされていない、椅子机など職場環境が悪い所に発生しやすい
- ⑨ 安易なシステム依存による思い込み
- ⑩ 担当業務の量

Q27 あなたは、事務処理ミスが発生させないようにするには何が有効だと思いますか。

項目	人数	割合
事務処理ミス防止に関する研修を充実させること。	73	11.1%
事務処理ミス防止に関する情報提供を充実させること。	54	8.2%
業務マニュアルを充実させること。	150	22.9%
チェック体制を強化するなどの仕組みづくりを行うこと。	175	26.7%
職場内のコミュニケーションをよくすること。	121	18.4%
処分を厳正に行うこと。	19	2.9%
できるだけ人の介する業務を減らすこと（デジタル化等）。	54	8.2%
その他	10	1.6%

その他の内容（主な内容）

- ① ①適切なチェック（決裁）ルートの検討②失敗した事例の共有（対処・解決手段も含めて）
- ② ミスが発生しやすい事例を事務処操作者が情報連携して事務処理を行う。
- ③ 業務を担当、副担当で行い、チェック体制や業務負担を偏らせないようにする
- ④ 事務処理方法をわかりやすく、シンプルにする
- ⑤ 正規職員の増員
- ⑥ 仕事の多い職員の仕事を減らすこと
- ⑦ 椅子や机、庁内の設備を綺麗にするとともに、断捨離。
- ⑧ 膨大な単純作業はシステム化することでミスを防げると思うが、複雑な案件等はシステム依存でなく法律・制度を十分な理解を得ること。
- ⑨ 業務に関わる研修を充実させる。

Q28 あなたの職場では、個人情報適切に管理されていると思いますか。

項目	人数	割合
適切に管理されている。	74	28.7%
おおむね適切に管理されている。	162	62.8%
あまり適切に管理されていない。	18	7.0%
適切に管理されていない。	3	1.2%
個人情報は（ほとんど）扱わない。	1	0.3%

Q29 あなたは、情報セキュリティポリシーを遵守していますか。

項目	人数	割合
している。	201	77.9%
していない場合がある。	42	16.3%
していない場合の方が多い。	2	0.8%
していない。	1	0.4%
セキュリティポリシーを知らない・読んだことがない。	12	4.6%

Q30 あなたは、自動車を運転する際、法定速度、一時停止など、交通法規を遵守していますか。

項目	人数	割合
公用、私用ともに遵守している。	150	58.2%
公用では遵守しているが、私用では必ず遵守しているとは言えない。	95	36.8%
公用では必ず遵守しているとは言えないが、私用では遵守している。	0	0.0%
公用、私用とも必ず遵守しているとは言えない。	13	5.0%
運転することがない。	0	0.0%

Q31 あなたの職場では、外部から不当要求や強いクレームを受けた場合、どのように対応していますか。

項目	人数	割合
毅然と対応し、通常以上の対応を行っていない。	31	12.0%
相手の言い分を聞いたうえで、法令の範囲内でできる限りの対応をしている。	159	61.7%
相手方によっては、特別な対応をしていることがある。	6	2.3%
職員によっては、相手方に対し特別な対応をしていることがある。	2	0.8%
上司に対応を任せている。	30	11.6%
不当要求や強いクレームを受けることはない。	30	11.6%

Q32 あなたは、職務上関係する業者等から何らかの依頼や圧力を受けたことがありますか。

項目	人数	割合
ある。	12	4.7%
ない。	246	95.3%

Q33 どのような依頼や圧力でしたか。

項目	人数	割合
入札の予定価格や最低制限価格の教示	2	14.3%
設計書の開示	0	0.0%
見積り合わせの相手方の教示	3	21.4%
その他	9	64.3%

その他の内容（主な内容）

- ① 特定の人物による圧力
- ② 暴力
- ③ 支払いを拒否され、自宅に呼び出されたり、職場に電話がかかってきたりして「命が

無くなるぞ」と言われるなどの内容で脅迫を受けた。

- ④ 条例の改正を求められている
- ⑤ 便宜を図るよう強要する。
- ⑥ 見積入札に選定した相手方を参加させない
- ⑦ 恫喝

Q34 そのときの所属はどこでしたか。

項目	人数	割合
議会事務局、総合政策課、総務課、財務課、税務課、危機管理課、会計課、消防本部・署、市民病院、監査委員事務局、選挙管理委員会	7	46.7%
市民生活課、福祉事務所、医療介護課、生涯学習課、学校政策課	3	20.0%
農業振興課、農地水産林政課、商工観光スポーツランド推進課、都市建設課、上下水道課、農業委員会事務局	5	33.3%

Q35 依頼や圧力を受けたとき、上司や同僚に相談しましたか。

項目	人数	割合
相談した。	10	83.4%
相談したことはない。	1	8.3%
その時々で相談したり、しなかったりした。	1	8.3%

Q36 依頼や圧力を受け、それに応えたことがありますか。

項目	人数	割合
応えたことがある。	3	25.0%
応えたことはない。	9	75.0%

Q37 なぜ応えたのか教えてください。

- ① パワーバランス上、そうせざるを得なかった。
- ② 円滑な議会の進行のため
- ③ 波風を立てないため。

Q38 コンプライアンスに関する意見等があれば自由に記入してください。(主な内容)

- ① それぞれの職員が立場に関係なく、真摯に職務に取り組まなければ、コンプライアンス研修をしたところで、無駄。
- ② 同じ部署ではないが、上司からのパワハラで悩んでいる職員がいる。上司が上級職であればあるほど、下の職員だけでは対応ができないで悩んでしまうという現状がある。
- ③ 年齢の高い職員を中心に市職員全体（自分も含む）がコンプライアンス意識が低いと感じる。
- ④ 何がコンプライアンス違反となるのか、業務において注意すべき点など、情報共有やWEB研修などがあると良い。
- ⑤ 各種ハラスメントも含めて、具体的に事例を用いた研修を受講すると意識の強化が図

れる。

- ⑥ 知らない法令違反を学習する必要があると感じる。
- ⑦ ハラスメントに関しては個人差があり、どこからがハラスメントか判断に困る。
- ⑧ 従来から取り組んでいるコンプライアンス研修も重要だが、上司が部下に対して業務上の指示・指導等を行う際、コンプライアンスの視点も踏まえた指導等を日頃から行うことで、職員のコンプライアンス意識の芽生えにつながると考える。
- ⑨ 人口規模が小さい市町村では、人間関係が狭く、調和を損なわないよう配慮する傾向があると考えられ、忖度、斟酌の行動につながることもあると考える。
- ⑩ 特別職が一番コンプライアンスがない
- ⑪ 日ごろからコミュニケーションを上司部下同僚関係なくとっていけば比較的問題は起きない。
- ⑫ 会計年度任用職員の方にもコンプライアンスの研修は必要
- ⑬ 訪問先でお茶や作った野菜等断りきれずにいただいてしまうことがある。断り方が難しいと思うことがある。
- ⑭ 多くの職員もコンプライアンスを意識して行動していると思う。近年、公務員の受験者が減少傾向にあり、今後は質の低下が懸念される。
- ⑮ 個々の意識づけとスキルアップ（特に部下職員を指導する係長級以上の職員）が必要
- ⑯ 上の世代の人の意識が低い。
- ⑰ 同僚等の経験談等、マニュアル化まではいかないにしても、コミュニケーションにより情報共有を重ねることが必要
- ⑱ 職員だけでなく特別職も同様の研修を行いアンケートを取るべき。
- ⑲ 相談しようにも同じ業務に携わる人もいないため相談等厳しいときあがる。
- ⑳ 職員のコンプラ研修も当然だと思うが、特別職へのコンプラ研修も必要では。